

私と楽器

社会医療法人さくら会

理事長 伊原 郁夫

私が産声を上げた南河内に戻って二十五年が経過し、現在は救急医療の合間に、近隣の方々に脳卒中の講演をする際に、趣味のジャズを中心とした楽器演奏を行っております。さて、私が初めて楽器を手にしたのは、四歳の頃です。当時雑種の雌犬を飼っていて、一日中犬小屋の中に入り、ハーモニカで、知っている限りの童謡を吹いておりましたら、なんと「ウオー」と音に合わせて啼くようになったのです。気を良くして一所懸命に吹いているうちに、知った曲を八長調に換えて吹けるようになっていました。当時、姉のために買ったピアノが、殆ど使われることがなくなっているのを見て、ピアノに興味を覚え、レッスンに通うようになったのが、小学校の四年生の頃でした。ピアノの先生は小学校の教頭先生で、とても優しく、褒めて育てるタイプの方でしたので、楽しみつつ上達するのが自分でも解りました。父の転勤を機に、ピアノの先生が変わり、某有名音大出身の女性の先生に習うことになりました。非常に厳しく、手を叩かれることもありました。音楽は好きでしたが、決められた時間に決められたことをするのが、徐々に苦痛になり、高校受験を理由にピアノを辞めてしまいました。不思議なもので、強制されると、反発してしましますが、自由になると反ってピアノの前に座る時間が増えてしまいました。強制されない演奏が、受験のストレス解消にも役立つものと思われま。当時グリーンミラー楽団のレコードの中に、ムーンライトセレナーデという曲を聴き、クラリネットの優しい澄んだ音に魅せられ、高校合格を条件にクラリネットを手に入れました。このころにビッグバンドジャズに興味を覚ええました。高校入学と同時に

に、野球応援の場合授業免除されるブラスバンド部に入部しました。高校二年の時、東京オリンピックの聖火リレーが高校の前を通る際に、近隣のブラスバンドと一緒に行進するという幸運にも恵まれました。トランペットファンファーレや東京オリンピック行進曲など、こっそり練習したものでした。またスウィングの王様と言われていたベニーグッドマンの『あなたの思い出』は今でも私のオーブニングナンバーです。楽しく充実した時間を過ごしていましたが、高校三年の前期末に、相撲のクラスマッチがあり、そこで頭を強打して脳挫傷になってしまいました。嘔吐と、記憶障害で直後の期末試験は惨憺たるもので、医学部は無理なレベルまで落ちてしまいました。元来私は、楽観的でして、諦めず頑張ったのですが、残念ながら現役では苦杯を舐めました。一年浪人して念願を果たしましたが、この一年ほど人生で勉強と音楽に親しんだ時期はありませんでした。このころ聴いたジャズは、ソニーロリンズ、ブルーベック、コルトレーン等のレコードを擦り切れるほど聴いたものでした。大学に入ってからサキソフォンを手に入れ、ジャズポピュラーバンドを結成し、勉学と両立させながらバラ色の学生時代を送りました。脳挫傷の経験で、当初から脳外科医の必要性を痛切に感じておりましたので、脳外科医を目指しました。脳外科医になってから、演奏から遠ざかっておりましたが、友人からネットでセルマーサキソフォンがあることを教えられ、手に入れたところ、良品は、弾き手が下手でも良い音がするもので、一念発起して練習を始めました。地元の講演の時に演奏すると、予想以上に皆様喜んで下さり、病院のイベントなどでも好評をいただきました。自分の趣味が、患者さんや周りの方々にとっても心の安らぎになることは、何よりも素敵なことではないでしょうか。仕事は勿論のこと、趣味を生かして、皆様に喜んでいただければ幸いと思いい、演奏を続けていきたいと思っております。